

## 当事者団体連絡会報告

(平成 25 年 3 月～平成 25 年 6 月)

開 催 平成 25 年 3 月・4 月・5 月・6 月

内 容 (1)障がい者の暮らしの中の問題点として、理解者・支援者の確保について検討。  
(2)相談支援事業についての当事者側からの「気づき」などの確認。

### 1. 「理解者・支援者の確保」についての検討

このことに関して前年度後半から検討してきた。本年度前半で「理解者・支援者の確保」を目的とした対談会を企画、実施することになった。

- 目 的 春日井のまちで「障がい」及び「障がい者」の理解を深め、日々の暮らしの中で「ちょっとした支え」に繋がっていく。
- テーマ 春日井のまちで元気に楽しく  
～障がいのある人も生きにくさのある人もみんな一緒に～
- 内 容 ・対談形式中心  
・住まいに関する研究会啓発班・中部大学齋藤ゼミ作成の啓発 DVD の視聴  
・参加者との質疑等
- 日 時 8 月 25 日(土) 午前 10 時～12 時
- 場 所 グリーンパレス春日井 第一会議室
- 出 席 日本福祉大学教授 木全和巳氏(障がい者について)  
NPO 法人あっとわん代表理事 河野 弓子氏(障がい児について)
- 司会進行 地域アドバイザー 田代波広氏
- 参加対象 主として障がい福祉にかかわりを持っている方、興味を持っている方で、普段障がいのある人の近くに居ると思われる人たちをイメージした。  
・地域で地区社協の活動をしている方、民生委員、ボランティア  
・学校、保育園などの職員やお子さんのご家族  
・支援事業所の職員や利用者とそのご家族  
・当事者団体会員 春日井市民
- 周 知 ・広報かすがい 8/1 号に案内を掲載  
・関係機関等にチラシを配布

### 2. 相談支援事業について

現状 (1)本年度より障がい者生活支援センターしゃきょうが加わり、相談員数が増えたことは良い。

(2)総合福祉センター内の相談室が増え、環境が整ってきたと感じる。